

令和5年度 第1回 浦臼町総合教育会議会議録

招集期日	令和5年11月28日	場所	行政センター 委員会室
開閉の時間	午後2時37分 開会 ・ 午後3時54分 閉会		
委員の出席状況	出席委員	平松職務代理、島委員、大石委員、美濃委員	
	欠席委員		
町長の出席状況	川畑町長		
教育長の出席状況	河本教育長		
職員の出席状況	石原副町長、横井事務局長、小田事務局主幹、熊谷学務係長、西川学務係主査		
横井事務局長	<p>皆様お疲れ様でございます。おそろいになりましたので、令和5年度第1回浦臼町総合教育会議を開催させていただきたいと思っております。開会に先立ちまして、川畑町長よりご挨拶をお願いいたします。</p>		
川畑町長	<p>皆様大変ご苦勞様でございます。まず前段になりますけれども、今回の父の葬儀にあたりましては皆様から大変ご理解をいただきまして、滞りなく葬儀を終了させていただくことができました。大変ありがとうございました。</p> <p>それでは、今日は令和5年度第1回浦臼町総合教育会議ということで皆様にお集まりいただいたところでございます。先月くらいでしたかね、全国で行われた学力テストの結果が発表されておりまして、表面的な数字ではあったんですけど、全道平均、全国平均を上回る部分も多々あったと見ております。浦臼町の子どもたちは頑張っているんだなという思いもありますし、先生方の努力も見えたところでございます。ただ、単年度で終わってはいけないことでもございますので、私たちも含めまして教育関係者が今後とも子どもたちの学力向上のためにぜひ頑張りたいと思っておりますし、私も力を尽くしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>協議につきましては5点の議題の方を用意しております。それぞれ重要な案件でありますので、皆様の忌憚のないご意見をいただきながら、今後の教育行政に役立てていければと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。</p>		
横井事務局長	<p>ありがとうございます。引き続きまして教育長よりご挨拶申し上げます。</p>		
河本教育長	<p>皆様お疲れ様でございます。今年5月にコロナの感染症の区分が変更となりまして、学校教育・社会教育ともにコロナ禍の前の通常に戻ってきております。実施を見送っていましたが事業の再開と、大変な部分もありましたけれども、各種行事が通常開催できることは大変嬉しく思っているところであります。</p> <p>小中学校におきましては、小学校で教職員の怪我による休職により、夏休み明けからの算数の専科加配がなくなるというアクシデントもありましたけれども、町費で雇用の職員の活用等によりまして、今のところ順調に経過しているところであります。</p>		

	<p>また、空知管内でも既にインフルエンザによる学級閉鎖等が出てきておりまして、引き続き感染症対策に心がけていきたいと考えております。</p> <p>今日の議題につきましては、先ほど町長からもありましたとおり、5点の議題につきまして町長との意見交換をしていただき、その結果も踏まえて新年度に向けて準備を進めて参りたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。私からは以上です。</p>
横井事務局長	<p>ありがとうございました。引き続き議事に入っていきたいと思いますが、ここからの議事進行につきましては町長にお願いしたいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
川畑町長	<p>それでは、議事の1番目から参ります。浦臼町教育委員会の事務の点検及び評価結果報告書についての説明を順次お願いいたします。</p>
河本教育長	<p>それではこれにつきましては私の方から説明をさせていただきたいと思っております。資料1をご覧くださいと思います。(2)浦臼町教育委員会の事務の点検及び評価結果報告書につきましては、令和4年度の点検評価にあたり、地教行法第26条第2項の規定によりまして、学識経験者の知見の活用を図ることとされておりました、8月23日に懇談会を行ってございます。</p> <p>学識経験者の方からいただきましたご意見につきましては裏面の2ページの(1)～(3)までとなっております、(1)につきましては、小中学校の1人1台端末の更新に関するご意見、(2)につきましては、学校における暑さ対策に関するご意見、(3)につきましては、海洋センター、農村センター、またふるさと運動公園の環境整備に関するご意見となっております。</p> <p>概要につきましては以上となっております。</p>
横井事務局長	<p>まず、ICT環境につきましては、今はまだ小中学生全員に行き渡っていますが、今後、更新時期を迎えたときに、タブレット端末をiPadにしてほしいという要望がありました。あと、使い勝手を良くしてほしいとか、使い方の差が小・中学校で、先生方のICTに対する考え方の差もいろいろありますが、意見があったというところでもあります。それが(1)になります。</p> <p>(2)については、今年度非常に暑いというところがあって、9月の一般質問でもありましたが、エアコンの設置についてというところと、仮に空調設備を設置したときのルールとかというところが、どういうものかというのが意見としてありました。</p> <p>(3)につきましては、それぞれ老朽化してきているところもありまして、施設の管理についてというところと、ふるさと運動公園野球場、パークゴルフ場の草刈りについて話をいただいているところでもあります。</p>
川畑町長	<p>概要につきましては以上です。</p> <p>タブレットの更新時期は。</p>
河本教育長	<p>計画では令和8年に一応を更新時期を迎えることになっています。</p> <p>おそらくこれは、中学校のPTA会長のご意見だったんですけど、おそらく中学校からのある先生の意見をそのまま言ったと思って。今は違いますけども、おそらくその先生はiPadにしたいんでしょうね、多分。</p> <p>ただ、それはそれで一つの意見として、次の更新のときには一応、もう1回フラッ</p>

	トな形でどれがいいかというのを選定をしなきゃいけないのかなとは思っています。
川畑町長	全国的にどっかの機種に偏っているというのではない？まんべんなくというか、Androidか、マイクロソフトか、iPadかみたいな。
横井事務局長	近隣の状況でいくと、ほとんどが Chromebook でうちで使ってるものです。ただ、この間の課長会議では、iPad 使っているところはみんな Chromebook にすると言っていたので、そこから現場の感知と我々管理する側の感覚がちょっと難しいところあるかと。Chromebook は衝撃に強くなっているんで、大きくちょっと重いんで、低学年の子たちはちょっと重いのかなという思いもありますが、だからといって壊れやすいと言われると。
川畑町長	好みといたしますか、その先生によって考え方も違うので何とも言えないけど、やっぱり意見の多いところで調整していくことになるかと思えます。 学校施設のエアコンについては、今のところは教育委員会とは連携してやっていますけれど、補助申請をあげる段階が 10 月にありまして、その採択にはなりそうな状況にはなってきています。あとは年度内に間に合うとか、少なくとも来年の夏までには間に合うかという状況だと思います。 全ての教室というわけにはいきませんが、最低限の設置に向けて今、練っているところです。
河本教育長	それこそ(2)は、一番暑かった日、8月23日で、ちょうど参観日もあって小学校の教室が38度あった日なんですよ。 この日、こども広場もここではちょっと暑いので、活性化センターに急きょ場所を切り替えた。その当日エアコン効いてない部屋で開いた会議だったので、なおさらこういう意見が出たのかな。 暑さ対策と言われたので特には、ということで説明したんですけども、ただ、熱中症対策という観点からは、道教委からも文書が来ていますし、そういう対策は学校ではちゃんと取られているのかなと思っています。 あと、2日ぐらい小学校では午前授業だけにした。ちょうど暑かった時期。だからこども広場を活性化センターでやって、そういう臨機応変なことができるので、この会議どこかの場所にはならなかったんですねというようなご意見もいただいた。
川畑町長	とりあえず最低限といたしますか、各教室と教職員の部屋等には設置していきたいと思っています。 (3)につきましては、予算も限られた中で順次進めるしかありません。ただ老朽化も、だましましと部分で使ってきたところもありますので、大がかりにやらないと、というところも出てきているのは確かです。どうしても予算の関係もありますので、順次進めさせていただきたいと思えます。 それでは2番に進めさせていただきます。(2)小中学校の冷房設備の設置についての説明をお願いします。

熊谷係長	<p>私の方から説明させていただきます。</p> <p>先ほど点検の結果報告の関係でお話もありましたが、9月の定例会にも3名の議員から一般質問がありまして、学校施設環境改善交付金の申請を10月に行いまして、内定は12月の上旬を予定しております。予算につきましては12月の議会の補正予算において計上を予定しております。小学校、普通教室6台、職員室1台、校長室1台、中学校、普通教室3台、職員室1台、校長室1台を予定しています。</p> <p>国の補助としましては3分の1の補助率となっています。以上です。</p>
川畑町長	<p>はい、今現状についての説明がありましたけれども、先ほどもお話ししましたが、何かご質問等あればお願いします。よろしいですか。</p>
河本教育長	<p>これにつきましては、こういう状況になっているかどうかがわからなかったものからです。ただ、町長に英断いただきまして、補助申請を上げるということで決断いただきましたので、どちらかというとうりありがとうございます。</p>
川畑町長	<p>来夏に向けて淡々と進めて参ります。</p> <p>それでは、(3)ALTについての説明をお願いいたします。</p>
熊谷係長	<p>ALTについてです。</p> <p>今年度で が6年目になりまして、オーストラリアに帰るとい話もあり、教育実習でオーストラリアの方に帰られていまして、こちらに戻ってきまして、来年度どうでしょうかと確認をしたところ、浦臼でもう1年いますと言っていましたので、報告させていただきます。</p>
河本教育長	<p>これにつきましても、当初 がもう1年いてくれるということを想定する前にこの議題に上げるということでしたので、もし がオーストラリアに帰るとしたら、その次の後任のALTについてはJETからの派遣ではなくて、ある程度日本語能力のある人材を派遣してくれる所からALTの契約をしたいということのお願いをしなければいけないなと思って、議案として上げさせていただきました。</p> <p>ただ結果、後1年 が来ていただけるということですので、これにつきましても、もし が帰った後については、そのような対応をお願いしたいということで、そういう内容でございます。</p>
川畑町長	<p>については本当にこれ以上ないぐらいの人材と思っておりますので、いただけるのが一番いいんですけど、それは多分叶わない話でしょうから、常に以降のことを考えなければならないと思っています。今言われたような方が都合よくいるかどうかもわからない。</p>
河本教育長	<p>ただJETプログラムだとALTのためにある制度じゃなくて、国際交流のためにある制度なので、日本語を話せる・話せないというのは要件に入っていないみたいなんですね。そうすると、全く日本語を話せない人がJETプログラムで派遣されるというのは体制としても困るということになる。</p> <p>元々 を派遣していたような事業者については、採用するときに日本語能力をチェックしてALTを採用しているので、そういうところからALTを派遣していただけるようにしたいなと考えています。</p>

川畑町長	そこは今でも派遣できるような人材を抱えている状況？
横井局長	<p>次年度の意向を10月までに教えてもらえれば、それように。例えば浦臼という地域性もあるので、そういう人を向こうの会社で面接して、確保してくれるということなんです。今回は 〇〇 の意向確認がどうしても11月になるという話をさせてもらっていて、それはそこまで待つよと言ってくれていたもので、前の年の10月～11月までにその会社にお願ひすれば、浦臼に良さそうな方を来年の4月から準備していただけるということです。抱えているというよりは、いろいろそこに申し込みが来るので、その会社で面接して、浦臼に合いそうだなという人を4月から派遣してくれるという感じです。</p>
川畑町長	<p>わかりました。来年はかなり 〇〇 は厳しいと思っていた方がいいのか。多分ないだろうという前提で話を進めておいた方がいいと思います。</p> <p>皆さん何かご意見ございませんか。よろしいですか。</p> <p>それでは(4)郷土史料館の資料保管についての説明をお願いいたします。</p>
小田主幹	<p>私の方から説明させていただきます。資料の方は2番ということでございます。これにつきましては、9月12日、元坂本龍馬記念館学芸課長の前田さんにご来町いただきまして、史料館の展示についてのご指導をいただいたところでございます。直接お聞きしているかもしれませんが、そのときの状態としての報告をいただいたところでございます。9月の段階の状態といたしましては、この日大変な大雨の日だったんですけども、気温につきましては25.9度というところで、湿度につきましては76%と。この数字につきましては、竜馬コーナーのガラスのケースの中の環境としての数値となっていますけれども、いずれも大幅に基準値を超えているというところでのご指導をいただいたというところでございます。</p> <p>またガラスケース内をご覧いただいたときに、壁と展示物、掛け軸とか、そういったところにカビが発生しているというところでございます。その原因としてしましては、室温の管理が原因、あと壁自体がベニヤを使っているということで、ベニヤは適さないというようなことでお話をいただいたところでございます。</p> <p>今回の資料の方から離れて、管理といった部分になるかもしれないですけども、光量による劣化についても資料の劣化ということで、展示物にその時点ではスポットライトを直接当てているというような状況で、お客さんがより見やすくというような形でやっていたというところだったんですけども、そうした光は足元に照らす程度で、周囲に直接当てると劣化につながるというところでお話をいただいております。ガラスケース内等につきまして、固定のLEDにつきましては光の量が強すぎるという指摘をいただいて、それによって資料にも影響があるというお話を伺っております。</p> <p>対応策についての案ということでいただいているところでございますけれども、カビにつきましては、やはり温湿度管理が現状の環境では大変厳しい状況であるということで、ご指摘をいただいているところでございますので、貴重な展示物だけでも湿度管理等ができていたガラスケースであったり、もしくは温湿度管理ができる施設での保管ということで、協議等、検討していきたいと考えているところでございます。</p> <p>あと、ご指摘いただいております照明とカビにつきましては、照明につきましては既にスポットライトの向きを変えたり、数を減らしたりで対応しているところでござ</p>

	<p>います。カビにつきましても、閉館後にカビの除去の方を実施いたしまして、現状としては完了しているというような状況でございます。以上でございます。</p>
川畑町長	<p>龍馬記念館にも勤められていた前田学芸員さんが、今退職されまして、フリーのような形でそういう活動をされています。北海道、うちだけではなかったのかな。何ヶ所か回られた。その中で浦臼に立ち寄っていただきまして、ちょっと現状を確認していただいたところです。</p> <p>どうしても浦臼町、専門の施設があるわけではありません。当然、加湿ですとか、様々な大切に保管しなければならないものではあるんですけども、それには至っていないというのが現状でして、カビも散見されたということでもかなり嘆いておられまして、注意しなければならないところではあるんですけど、そのためだけに設備をというのはなかなか厳しいところもあるのが現実です。</p> <p>そういうとき、適切な管理ができるところでの保管というのも一つの考え方なのかもしれないです。そんなことも選択肢にしては考えていかなければならないのかなと。大変貴重なものですし、この世に二つとないものでもありますので、そういう目で、今後の対応について考えさせていただきたいと思います。</p>
河本教育長	<p>例えば、これからいろいろ検討していかなきゃいけないと思うんですけども、ベニヤを石膏ボードに替えるとか、比較的安価でできるものもあれば、お金のかかるものもあって、それこそ今、工事をやっています多世代交流施設の収蔵庫も当初、湿度管理をしないという話を聞いたんですけども、湿度管理されるような話もお聞きしましたので、前田さんは龍馬の手紙の本物だとか、あるいはその閉館中も冬の間、貴重なものは史料館に置かない方がいいというご意見もいただいています、その多世代交流施設の絵画の収蔵庫に、それら貴重なものを入れておいてもらえるような体制がとれるのかどうなのかって。</p> <p>そこも例えば社協さんが指定管理で入って、私どもが預かってもらいたいと言っても、社協さんがそんなの預かれませんかよと断られてしまうものなのか、それとも、総務課で管理していて、総務課にお願いして入れてもらえるのか、あるいは入れてもらえるようなスペースが若干でもあるのかどうなのか。もし、入れてもらえる余地があるのであれば、史料館の改修が少なめにできるのかなと思います。</p> <p>置いてもらうにしても、何らかのケースなり、入れ物というのは必要かなとは思いますが、そんなことも考えたりしています。</p>
川畑町長	<p>大変貴重なものであるのは変わらないですけど、王さんの絵も貴重なものであるのは変わりありませんので、あとはスペースとか、そういった問題だと思います。</p> <p>駄目ということはないと思っていますけど、実物は展示する方向の方が実際人に見せるんだったら実物の方が値はあるんですけど、ただそれでね、その痛んでいくというのが。</p>
河本教育長	<p>今年、複製を作ったんですけど、複製も飾っちゃいけないということだったので。やっと閉館中にカビの除去は終わったということなので、いろいろ検討していかなきゃならない実験といいますか、どこまで湿度を抑えられるのか。</p>

	<p>史料館はエアコンがあるにも関わらず、エアコンは回さずに入口のドアを開けていたというような経緯もありますし、それをできるだけ閉めて、常にエアコンを回して湿度が抑えられるのかどうなのか、それで抑えられなければ、何か別の措置をしなきゃいけないのか除湿機っていうのもありますから、除湿機を何ヶ所かに置くとかいろいろ考えられると思うんですよね。それもできるだけ経費の掛からない方法でというのをこれから検討していかなくちゃいけないですし。予算要求もしていかなくちゃいけないのかなと。</p>
<p>川畑町長</p>	<p>多世代の方は入れないということはないと思っていますけれど、とりあえず時期的にそちらに保管するってということもさせていただきたいと思います。皆さんの方から何かございませんか。よろしいですか。</p> <p>それでは（５）今後の教育政策について、学校教育関係の方からお願いします。</p>
<p>西川主査</p>	<p>私の方から説明させていただきます。タブレットの方に資料３を提示させていただいております。学務係所管の今後の教育施策についてです。</p> <p>一点目です。町独自加配教職員の配置についてです。今年度で８年目を迎えておりまして、補助教員として２名、特別支援補助員として１名、それから令和５年度より複式学級編制を回避するためにフルタイムの教員１名を雇用しております。現在、来年度小学校の教員の定数減も見込まれ、また現在休職されている先生の代替として、補助教員２名の方が活躍されていることから、令和６年度も引き続き配置したいと考えております。</p> <p>次です。事務補の配置についてです。今年度より小学校では道のスクールサポートスタッフと兼務という形になるのですが、小学校に１名、それから中学校に町雇用として１名配置しております。多忙である教頭先生の業務補助を基本としまして、教職員の事務的な補助についても担っていただいております。昨今うたわれております教職員の働き方改革の推進のためにも、令和６年度も引き続き配置したいと考えております。</p> <p>次です。教職員の家賃補助についてです。令和３年度から実施しており、現在町内の民間住宅に管理職が４名入居している状況です。管理職だけではなく、一般教職員等も家賃補助があれば、浦臼町に住んでもらえる可能性が高くなると考えられることから、来年度も引き続き補助を行っていきたいと考えています。</p> <p>続きまして、ＩＣＴ教育の推進についてです。３点ございます。１点目は、デジタル教科書の継続導入となっております。今年度は、文科省のデジタル教科書実証事業により、小学校では英語、中学校では数学と英語が導入されています。また小学校では国語と算数の指導者用デジタル教科書を導入し、ＩＣＴ教育の推進を図っております。継続的なデジタル教科書の導入と他の教科への拡充を図りたいと思います。</p> <p>２点目です。ドリル学習ソフトの継続導入です。小学校は令和３年度、中学校においては令和４年度から、デジタルドリルソフトのスマイルネクストというものを導入しております。授業の合間や朝自習など、振り返り学習として活用しております。令和６年度においても継続的に導入したいと考えています。</p> <p>３点目です。こちら新規となっております。電子黒板の新規導入です。小中学校の普通教室、多目的室、職員室に新規導入したいと考えております。町長の方でも実際にご覧になったと思うんですけれども、教材を拡大表示したり、直接マーキングや説</p>

	<p>明などを書き込んだり、児童生徒が直接電子黒板に自分の考え等をまとめて発表したりするなどタブレット学習との親和性も高いことから教員のICT指導力の向上や、児童生徒へのより高度なICT教育の提供が期待できるものです。</p> <p>最後です。学びの保障のための家庭の通信環境整備についてです。現在、光回線のない家庭に対して、無償でモバイルルーターの貸出しをしております。現在1世帯の貸出しを行っております。また、通信環境整備の一部として経済的に困窮している世帯については、就学援助において、オンライン学習通信費約14,000円の支給を今年度より設定しており、支給を行っております。児童生徒の学びの保障のために、令和6年度も引き続き支給を継続し、ルーターの貸出しも引き続きを行っていきます。学務係は以上です。</p>
川畑町長	<p>それでは次、社会教育関係をお願いします。</p>
小田主幹	<p>社会教育係です。各種社会教育事業の見直しについてということでございます。</p> <p>令和5年度の各種社会教育事業の参加者の減少が見られることから、開催の回数ですとか、時期や時間、参集範囲など、各種事業についてこれまでの事業の実績等を踏まえて協議・検討を行ってまいりまして魅力ある事業の開催に向けて見直しを図っていきたくて考えてございます。</p> <p>2番につきましては郷土史料館の施設整備ということでございますけれども、先ほどお話しさせていただいたことと同じということでございますので、省略させていただきたいと思います。</p> <p>3つ目でございます。社会教育等の設備についてということでございます。農村センター・海洋センターの施設の維持管理及び運営につきまして、経年に伴う大規模、小規模的な補修・改修についてはこれまでも行っていただいているところでございますけれども、今後におきましても緊急性の高い施工箇所が控えているという施設でございます。施工には今後さらに大きな費用も見込まれるというところでございますので、計画性を持って、関係者間と協議等検討等を進めていきたいと考えてございます。</p> <p>海洋センターにつきましては今年度プールの開園中でありましたが、濾過器のポンプが故障をいたしまして、プールの使用に影響があり、中止にしたというところでございます。</p> <p>故障につきましては濾過器のポンプだけではなく、1ヶ所壊れたら次もう1ヶ所出てきて、またさらにもう1ヶ所見つかるというのが続いたような状況でございました。それにつきましてはポンプの舗装等を行っているところでございますけれども、過去に行っているところでございますが、経年に伴う故障等が今後増えてくることと思っております。助成金を活用しながら計画性を持って早急に協議検討を行っていきたくて考えてございます。</p> <p>さらに、ふるさと運動公園野球場についてでございますけれども、ゲリラ豪雨ですとか強風によりましてグラウンドの土が減っている状況でございます。内野の方が全体的に減っているという状況で、外野の方、芝との段差が出てきておまして、球場全体で経年による劣化が見られるということでございますので、整備の優先順位などを計画的に取り進めていきたいと考えてございます。以上でございます。</p>

川畑町長	<p>学務係と社会教育係の方から説明がございました。まず学校教育関係につきまして何かご質問ご意見等ありましたらお伺いしたいと思います。</p> <p>複式学級、今年度から2、3年生の方で15人、7人と8人。1人来れば解消されるんですけども、15人ということで複式学級の条件を満たしてしまっただけという状況にあります。平成8年に小学校が統合になって27年目にして、こういう状況に至ったところですけど、今後この事態が解消されることがある可能性もないわけではないんですけど、複式学級という今の子供たちは少なくとも経験してなかったという状況もありますので、条件を満たしたからといってすぐ複式学級にはしたくないという思いもありまして、今1人つけて解消しているところですけど、今後さらに違う学年も増えるというような事態も考えられなくもないけど、当分はないんですね、確か。</p>
河本教育長	今のところ大丈夫ですね。
川畑町長	<p>どっちにしても綱渡りみたいな状況が続きますので、これを解消するには本当に若い世代を移住してもらって、その学年の子が入ってきてくれて解消されるというのが一番ありがたい姿ではあるんですけど、なかなかそう簡単にいく話ではありませんので、その間は現状を続けていきたいと思います。</p> <p>どうでしょう、皆さん他に何かございませんか。</p> <p>次に社会教育関係ではいかがでしょうか？何かございましたらお伺いします。</p> <p>具体的には例えばどういう事業が。長く続いているものを見直しというか。</p>
小田主幹	<p>ソーセージとか手打ちそば体験とか。社会体育もありますけれど。</p> <p>そういう続いているのは比較的、ソーセージについては今年呼び込みをあまりしなくても来たという事業も中にはありますので。そういう中で今年に関しては陶芸をやったんですけども、申込みがゼロ。私達の努力が足りなかったのかなというところ。参加者の方のご意見とかお聞きしていく中では、開催時期をずらした方がいいというご意見もいただいているので、そういったところも含めまして見直しをしたい。</p>
川畑町長	<p>せっかくですから、皆さんに集まっていただけるような事業に取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>皆さんの方から何かございませんか。よろしいですか。ありがとうございます。</p> <p>それでは用意した議題につきまして以上です。(6)その他ということですけども、皆さんからは何かございませんか。</p>
横井局長	<p>先ほどの学校教育関係で、新規で電子黒板のお話をさせていただきましたが、これは今後予算の話になっていくのですが、電子黒板が入って今のICTの推進というか、そこがひと区切りなのかなと思っているところはあります。それが入れば、先生方の負担もかなり減りますし、子どもたちにとっても学びの機会の確保に繋がっていくのかなと思っておりますので、ぜひ検討いただければなと思っています。</p> <p>もう一点、その上の先生方の家賃補助の関係なんですけど、新しい住宅を4戸を確保して、管理職の先生方に住んでいただいているという状況があるんですけども、今後の考え方として、管理職の先生方がどうしても住まなきゃならないのかどうかというところを含めて、見直し、考え方を整理しなきゃならない時期かなと思っています。本来であればせめて管理職の先生方は住んでほしいというのが思いなんですけど、その辺の</p>

	<p>予算の絡みもあって、どこまで家賃補助して住んでもらうのか、整理しなきゃならないところがあると思うので、今後協議させていただければなと思っています。</p> <p>実際、住まなくてもいいなら住まないかなという人も。持ち家を持つての方とかは、特にそういう考え方になってくるので、そういうところを含めて協議していただければなと思っています。</p>
川畑町長	これはもう、全く縛りはない？
横井局長	<p>本来であれば管理職の先生は何かあったら困るので、校長先生も教頭先生も地元にいるというのが本来なんですけど、結局働き方改革の流れがありまして、管理職に女性の方を登用しなさいという話もあって、そうすると家庭を持たれている管理職の方に、例えば奥さんだけ単身赴任して地元に住みなさいというのがどうなのかというところも議論もされていて、今住みなさいという状況ではどんどんなくなってきているので、そうなってくると公宅があれば空けとけばいいという話なので、そんなに問題ないんですが、民間住宅なので今回来る先生は住みたくないと言ったら空けとくのかというのがあって、そういうのも1回協議しないとと思っているのですが。</p>
川畑町長	難しいのは、業者さんに建ててもらうときに4戸は確保するみたいな話をして建ててもらったところもある。
横井局長	そういうのもあるし、簡単に住まなくてもいいよとは言えないんですけど、では家賃補助を際限なくしますかというところも含めて協議しておいた方がいいかなと。
川畑町長	今言ったように持家を持っていて、助成とかというならわからなくもないけど、美唄市にアパート借りて住むというのもいいってことになるのか。
横井局長	地元に住まなくてもいいということであれば。今ここに住むと家賃補助するから住んでくださいよとか。
河本教育長	でも家賃補助をしていない時から住んでいた。
石原副町長	学校管理上必要か必要じゃないのかということだよな。何かあったとき対応できるんですかという。
河本教育長	合理的な理由なしに強制的に居住されるのはアウトですよ。だから合理的な理由があればいい。
川畑町長	前は何分以内に来れるところに住みたいなのはなかった。学校に15分以内に来れるとか。大体は学校に隣接して、住宅があったのが普通だったけど。
河本教育長	教員住宅、うちもそうですけども、教員住宅を持たない自治体が通いでも全然いいですよというところが結構あるんですよ。
川畑町長	例えば滝川市だったら、基本的に滝川市に住むと思うんだけど、そんなこともないのかな。持ち家があれば岩見沢市から通うとか。
河本教育長	滝川市は滝川市に住んでいる。砂川市も民間住宅を用意して、補助を出しつつ住まわせている。当初、砂川市も補助を出しているからそれぐらいのレベルにうちも補助を出してほしいというのが前の教育長の考えで。
川畑町長	校長教頭が最後の砦かと思っていたんだけど、そういう時代なんだ。それこそ人口、交付税まで考えれば出してもいいのかもしれないけれど。

河本教育長	女性管理職がいてあそこに住んでいるけれど、どこに住んでいるかわからないので、それがいいところみたい。町公営住宅を用意されてそこに女性1人で住んでいるというのは、この住宅に女性1人で住んでるとみんながわかるというのがそもそも嫌だっという人がいる。
横井局長	<p>基本的にあの住宅があって、皆さんすごい喜んでるんですよ。色々な設備も入っているし着替えだけ持ってくれば済むので、本当に助かっているという話ですけど、一部そうじゃない方がいるので、じゃあ俺も俺もみたいな人が出てきて、見直すというか、考え方を1回整理しとかないと。</p> <p>近隣の状況もそうですけど、特に民間住宅なので扱いが難しい。逆に今度埋まっちゃったら、次の人が入りたいとなるとそれも困るので。そんなのもあって、1回どこかでそういうお話をさせてもらう場所をつくらないとなと思っています。</p>
川畑町長	校長教頭住宅が年代物で古くなって、更新しなきゃならないというときに、他所の町で一部負担してアパートを建ててもらって、そこに入れてもらう。それは学校の関係者を入れるという前提ではなかったけれど、町のお金を一部出してアパートを建ててもらったというのがあちこちで出だした頃だったので、それが丁度いいということで、校長教頭に入れてもらった。町の負担としては少ない。建てるよりはるかに少ない負担で今があるんですけども、当初は補助金すら出してなかったんで、補助金なしで5～6万、それにプラスアルファで7万近く払っている。今は補助を出していますけれど、それにしてもそれなりの負担になります。答えはなかなか出ませんが検討させていただきます。
横井局長	その他、町長の方から何かあれば。
川畑町長	議会の方でも度々意見も出るんですけど、義務教育学校というのが、最近本当にあちこちで、歌志内市が早かったかもですね。
河本教育長	空知管内で現存するのは今のところ歌志内市だけです。ただ、何年後かに予定しているのは、砂川市は令和8年。月形町は9年。上砂川町は年は聞いてないけれど、ただ中学校が古くなったので、町長の方から義務教育学校にするような指示があったと聞いています。
川畑町長	砂川は既存の学校を使って？
河本教育長	<p>建て替えです。</p> <p>それも検討したんですけども、結局建て替えた方が良いだろうと。増築よりは。</p>
川畑町長	<p>うちは他と条件がやっぱり厳しいのは施設が新しい。中学校については25年から使ってるのかな、小学校は大規模改修をやったばかりということで当然長く使うという前提で建て替えたり改修していますので、老朽化が進んでどうこうという状況にはないというのが現状です。当時はまだ義務教育学校という考え方、制度がなかった。</p> <p>今回の一般質問で出てただけけれど、さっき聞いた話で、あまりデメリットはないと。メリットは多いけれどデメリットは少ないということで、うちにとっての一番のネックはやっぱり校舎が新しいという部分で、どこの町を見てもやはり校舎の建て替え時期にタイミングを合わせてというのが一般的な流れになっているようです</p>

	<p>ので、中学校については、ようやく 10 年たったということで、建物としてはまだまだ使えるという状況にあります。</p> <p>その中で子供たちが交流というのが減ってくる中で、一つにまとめるというのが、今の流れになってきているんですね。砂川市みたいなところでも、義務教育学校にするというのは子供の数じゃないよね。一つにすることのメリットの合理的でもあるということなのか。お金の面も含めて。</p> <p>将来的にはそういう流れにうちもなっていくことにはなるのかもしれないですけど、では校舎をどうするのか、という大きな問題が出ています。なかなか学校として建てたものを他に転用するというのはいわけじゃないですけど、限られた使い道になるのかなと思いますので、当然どちらかに寄せる形になろうかと。片方は使っていて新しいのは、当然中学校ということになりますけれど、3 学年 3 クラスしかありませんので、教室の数が少ないという状況にありまして、当然中学校側で始めるとなると、かなり増築しないとできないという状況にあります。</p> <p>そこが一番ネックになって、土地の確保をどう確保するかという話。グラウンドは当然残さなきゃいけませんから、今の隣接地にどんな形になるのか。当然、この時代ですから、建築物を建てるのはすごく大きなお金のかかる時代になってきていますので、いろいろ考えながら時間をかけて検討していこうかと思いますけれど、やっぱり一番は子供たちにとって何が良いのか。</p>
河本教育長	<p>砂川市は例外で、あれだけの規模の市町村で義務教育学校を、他にもないことはないんでしょうけれども、それ以外の空知管内の市については、まだ検討してないとか、ようやく中学校一つで新しく統合したとか。まだ義務教育学校については、市については検討されてるところはほぼないですね。やっぱり小さい町がそういう傾向があります。</p>
川畑町長	<p>砂川市はいくつもあったんでしょう、学校自体は。5 校とか 6 校とか。相当大きな学校になるのではないかと思うけれども。</p>
河本教育長	<p>中学校が 1 つになった。小学校はまだ 3 つくらいあるのかな。スクールバスも今 3 台で、さらに 5 台くらい増やす予定みたいです。</p>
横井局長	<p>砂川市役所の 1 階に模型がありますけれど、ものすごい大きさです。確か体育館を中心に教室があるんですけど、ものすごく大きい、規模的に。</p> <p>メリットというか、先ほどデメリットはそんなじゃないかなと思ってますけれど、今、例えばうちの中学校だったら普通教室 3 つと特別支援の教室という、昔と違って教室の数が普通学級だけじゃないという考え方。小学校も普通教室 6 個と特別教室と考えていかなきゃならなくなったときに、合同になって、特別教室に入らなければならない特別支援の子供たちもある程度人数を集約して、となってくると、各学校で持っていた特別支援、その 2 人を見ていたとかいう先生が 1 人で 5 人見れる、となってくると先生の数とかだいぶ変わってくると思うんですね。その辺のソフトのところを考えるとかなりメリットがあるかなと。</p> <p>ただハード的に言えば、前と違う考え方なので、教室の数も単純に 9 個あればいいという考えではなくなっているんで、ハード的なところが。ソフト的には校長、管理職が減りますし、先生方の数もちょっと減るし。</p>

川畑町長	平松さんはなにか。
平松職務代理	大人目線の話だよなと思いながら聞いていたんですよ。子供にとってはどうなのかなと。メリット、デメリットとか。
川畑町長	先生の数だとか、教室の数とか、というのは子供にはあまり関係ないといえば関係ない。
平松職務代理	実際にまだ始まって浅いことなので、まだまだ見えてこないこともあるのかなと思います。
川畑町長	歌志内市はどうなんだろう、検証結果というか。何年か経つけれど、結果的には良かったのか。
河本教育長	歌志内市は人数少なくて、統計上の意味ある数字じゃないのかもしれないですけど、いいことは良い。結局9年間を見通してできるっていうところなんでしょうね。 しかも小学校の高学年の教科担任制ということも、結局中学校と併設すると中学校の先生が、どの科目でもできちゃうんですよ。だからうちは加配をもらって、そしてあとの町費の先生を雇ってもらって、それでやりくりしてやっているところがもうちょっとやりやすくなるのだと思いますね。
川畑町長	感覚的に6年間終わって、入学式あって中学生になって中1のいろいろ問題もある。それは本当になくなるもんなのかね、全く。境目がないからそうなのかね。対外的に自分は中学生ですってという言い方をしているの。他の6・3でやっているいろんなところと話すときは。
河本教育長	7年生、8年生、9年生ですね。 教育長の研修会でこんな質問した人がいて、小学校のときにそういう不登校気味で行かなかった子が中学校になったら通うようになった。だから節目みたいなもの、逆に続くことによって不登校がずっと続くんじゃないかと。小学校から中学校に変わることによって、不登校だった子が行くことになるというケースがたまにあるらしいんですよ。それがどうなのかっていう意見もありましたね。
平松職務代理	6年生で最高学年だという意識が育たなくなるんじゃないかという意見がありましたよね。
大石委員	中学校行って学校に出てくる、浦臼にしたら逆の子も結構いたりしたので、その辺は言い難いですけど、やっぱり周りの状況を見てこれから人数も減ってきて複式なったりならなかったりもするので、その状況を考えながら長い目でゆっくり考えながらいってもまだいいのかなと思います。
川畑町長	大人の問題だけど、補助金で建てたり改修したりしてるけれど、いつまでいじれないとか、例えば廃校にするなんていうのは、補助上返還かかるとかっていうことはないのかな。
横井局長	中学校はだめです。いきなり潰すって言われたら、それはもうバツなので中学校を潰すっていう考え方はもう一切ないと思っています。小学校の方の大規模改修の流れでいくと、あと後何年間かで外れていくと思っているので、それが小学校の方を20年残さなきゃなんないというイメージではない。使えるのは使えると思いますが、そ

	<p>それを 20 年残さなきゃならないというようなイメージではなく、もうちょっと短いスパンで考えられます。</p>
島委員	<p>まず義務教育、僕が小さいときってというのは、鶴沼と浦臼で特別なんでしょうけど、中学校に行くと言ったらやっぱり大人になったという意識が少しあったんですね。</p> <p>やっぱりそういう面で子供たちはどう判断するのかというのはいちちょっとまだわからないですけど、補助とかそういう関係あるので本当に長い間、長期的に考えた方がいいかなとは思っています。</p>
美濃委員	<p>実際に義務教育学校を運営されているところを見学したりとかしているわけではないので、ちょっとイメージがつかないというのが正直なところなんですけど。</p> <p>ただ前に校舎が違っても、義務教育学校をやっているところがあるというのを聞いたので、そういうことも模索しながら、今実情、その学校に通われているお母さんたちの話をたまに聞いたりすると、やっぱり人数が少なくて例えば部活ができなかったり、男女比の違いで体育をやったときに男の子が少ないクラスはどうしてもやっぱり例えば野球やったときとか、あまり得意じゃなかったら男の子の方が女の子に合わせてやらなきゃならないとか能力的なことが出てきて、大きい箱で考えたときに、そういうことももっと大きい枠で、学年を超えて活動が出来るようになってくれば、そういう違う活動の仕方の可能性、何年生だからこの勉強するとかって、今もう I Tとかあれば、個人で勉強を習得したりできる時代になってきているので、総合的に縦とか上とかの世代を超えた活動っていう可能性はすごく感じるんですよ。</p> <p>ただ、ちょっと今計画とかしてないのでイメージがわからないというか。</p>
川畑町長	<p>まだ、具体例が少ないので、プラス面、マイナス面であんまり見えてきてないところがあるんでしょうけど。時間をかけて。</p>
河本教育長	<p>義務教育学校ではないですけど、雨竜町は令和 2 年から小中一貫校、施設一体型の小中一貫やっていますので、だからあそこは 6・3 制ですけどもただ、中身的には義務教育学校と同じような活動が出来るのかな。</p> <p>中学校の先生に小学校高学年の授業させるという、施設が続いているので校長が行ってこいって言いやすいし行きやすい。</p>
川畑町長	<p>今部活の話が出たけど、部活は 6 と 3 で分けてやるという、そこはわからないけど、境目が。</p>
美濃委員	<p>歌志内市のバレー部の子は、中学校の教頭先生がバレー部の顧問してたときに、4 年生とかになったらバレー部に来ていいよと言われて練習していたそう。</p> <p>今ずっとそれが続いているかわからないですけど、結果的に人数ないですから、もう中学校 1 年生になったときにバレーをやっていた経験があるのですぐ試合にでれるとか、そういうメリットは聞いたことがあります。それは一貫校とかそういうことではなく、たまたまその地域がそういうやり方をしていたということみたいですけど。</p>
河本教育長	<p>滝川市は小学校の部活やめると言っています。管内に小学校に部活あるところはほぼないんですけど、滝川は 4, 5 年生は部活がある。だけれども今度、部活動の地域移行の関係があって、小学校の部活は廃止すると言っていた気がします。</p>
川畑町長	<p>部活もその先生が顧問をやっていたということ。</p>

河本教育長	<p>滝川市・砂川市あたりも厳しいみたいですね。それこそ地元のスポーツ協会にお願いすると言っていて、実際にお願いと断られる。だから今度は、それぞれのスポーツ団体ごとにお願にするような動きをこれからしていくと言っていました。</p>
川畑町長	<p>スポーツ団体と言ってもそれで商売してるわけじゃない。みんな本業があって趣味でやってる部分だから、任されても困るよね。</p>
河本教育長	<p>ただ、とりあえずは土日ということなので、しかも平日で1日休まなきゃいけない、そこは土日で1日休まなければいけないってことだと1日だけなんですよね。とりあえずは。土日両方できない。うちも結局今、文化部・卓球部で、文化部はもう平日しかやってないので。</p> <p>スポーツは卓球部とバレー部がありますけど、それだけを考えればいいのか、それとももっと将来的に幅を広げていくのを前提に考えるべきなのか。とりあえず今、卓球部とバレー部があるので、その二つの土日を何とかすればいいのかなと考えればいいのか、いろんな選択肢があるんですよ。</p>
川畑町長	<p>必ずやらなきゃならないのが、8年。 部活はもう先生は対応しない？できない？</p>
河本教育長	<p>令和8年から土日の部活動の地域移行。 できないことはない、相対の勤務時間が許せば兼業の許可は出来る。</p>
横井局長	<p>ここは教師としてなのか、部活の顧問としてなのかということになってきて、土日の部活を見たときは、教師として見てるわけではなくて、職業人としての部活の顧問として見ているので、別の手当が発生するという。</p> <p>そういう手当が出るというところで仕事をしているというか、例えば剣道の先生なら浦臼の剣連に入りたいな。そこからお金をいただいて教えてるというような形にするんだったら、先生もいいよみたいな流れなんです。その根本が働き方改革なので、何とかして部活の担当する時間を減らして働き方を改革するというのが大前提にあるので、なのに先生が受け持ったら駄目だよという。そこは先生ではあるけど、そのときは先生ではない。そういうような中で苦しい言い訳みたいところで。</p>
河本教育長	<p>中学校で加配の申請をして、部活動を担当している先生の授業時数を減らせばいいんだね。それで剣道を教えるような。</p>
川畑町長	<p>結局大きなところに頼るというか、そんな話も当初は出てたけれど、大きなところでもそんな進んでないんじゃ。</p>
河本教育長	<p>教育委員会で単独で部活動指導員という人を雇って、部活指導に行かせるということをやっているところは何ヶ所か道内で出てきている。</p> <p>あと仕事しては指導はしない部活動支援員みたいな人を雇って、部活をやっている間子供たちの安全だけを見てるといような。それもやり方としてはありなのかもしれないです。</p>
川畑町長	<p>例えば協力隊員で、卓球できる人材を採用して学校行ってやらせるということはある？</p>
横井局長	<p>そこがまた今、学校に誰が入っていいのかどうかということもまた、見直さなきゃならないところもあって。</p>

	<p>例えば卓球であれば、町内でも卓球をB&amp;Gでやっている人たちもいるので、そういう人をお願いして、土曜日子供たちと一緒にしてもらえませんか、それなりの資格を取ってもらわないといけないんですけど、そういう流れでもいいのはいいんです。ただ、その人たちが学校に入っていくときに、結局管理職の先生が鍵開けて誰か先生が見てるという状況にならなきゃ駄目なのか、それともその人だけで見れるのかとかっていう。じゃあ学校使わないでB&amp;G使ってくださいという話にもなるのかと。いろいろ始めるのでも見直さなきゃならないのが結構あるので、今はその土日は違う先生が見ればいい話なんですけれど、実際やり始めるとなると細かいところで、誰でも彼でも学校入っていけないよね、じゃあ玄関じゃなくて体育館だけ鍵を開けようか、とか、細かい部分を決めていかなきゃならない。</p> <p>実際今、保護者の方は地域移行ってあんまり皆さん知らないというような状況なので、うちでは今回はまず地域移行についてというところでお知らせしようと思って講演会をやる予定でいます。</p>
川畑町長	平日はまだ先生が教えてもいい。
河本教育長	できるだけ早く、平日も移行できる場所は移行してください。
川畑町長	子供たちは卓球やバレーは学校の中では無いのか。クラブ活動、外のそういう団体に落としてやる、学校から切り離される？
河本教育長	<p>ではないみたいです。</p> <p>だから我々は地域移行って出たとき、学校教育から社会教育に移るのかなって思ってたら、違うんですよね。あくまでも部活動。</p>
横井局長	一番最初に出てきた。学校活動の中の一つだという、あくまでも。そこが一番最初に出てくるので、地域移行ではあるけど、学校の学習の中の一環だというのが一番最初に出てくるので、地域移行して、社会教育の方に移行するという事ではない。近隣みんなは思っていますけど、中身は社会教育なのですごい困ってる。
川畑町長	<p>結構長くなってしまいました。他に皆様から特になければ締めたいと思いますけどよろしいでしょうか。</p> <p>時間長くなりましたけどご議論いただきまして大変ありがとうございました。今話した通り、昔当たり前だったことが当たり前じゃなくなっていまして、古い人間にとってはやりづらい状況になりつつあります。そんな中でも、子どもたちのためになんとかこの状況をうまく向き合わなきゃならないと考えておりますので、またご協力をいただきながら教育行政を進めさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。本日は大変ありがとうございました。</p>